

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

小児摂食障害診療ガイドライン(改訂第3版)

一般社団法人日本小児心身医学会摂食障害ワーキンググループ
子どもの心とからだ 日本小児心身医学会雑誌 2023; 32 (3) 396-450.

Minds 掲載 無

■1 半夏厚朴湯、小建中湯

疾患:

ヒステリー球(咽喉頭異常感症)

■2 半夏厚朴湯、小建中湯

疾患:

上部消化管の訴え

■3 抑肝散、甘麦大棗湯

疾患:

イライラ, 不安

<以上 1~3 の記載として>

有効性に関する記載ないしその要約:

(3)薬物療法 b)向精神薬「表 21 に向精神薬の使用例を示します」の表中に漢方製剤の記載あり

■4 六君子湯

疾患:

胃炎・胃痛

■5 大建中湯

疾患:

腹部膨満、弛緩性便秘

<以上 4~5 の記載として>

有効性に関する記載ないしその要約:

(3)薬物療法 b)向精神薬「表 20 身体症状に対する処方例」に記載